CleanManager

リリースノート

2025年 9月 17日

2025年9月17日アップデート内容

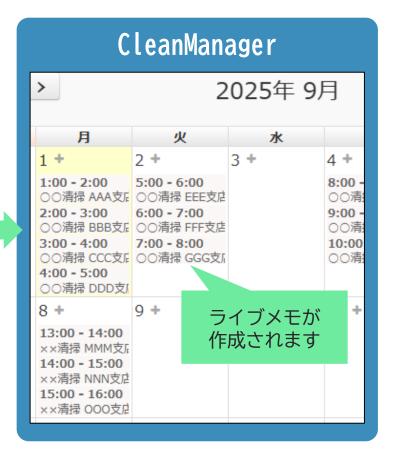
| No | 対象機能・概要 | 説明 |
|----|---------------------------|--|
| 1 | icsインポート機能 | 現在ご利用中のカレンダーアプリ等からCleanManagerへ予定を移行できる機能です。 |
| 2 | ファイル一括ダウンロード機能 | CleanManagerにアップロードした画像等の添付ファイルを 一括でダウンロードできる機能です。 |
| 3 | 作業発注確認機能 | 発注先が存在する作業票を作成した際に、発注先(作業担当の会社)がその作業票を「確認したかどうか」を管理・判別できる機能です。 |
| 4 | 「共有メモ」から「ライブメモ」 への名称変更 | 各機能で使用されている「共有メモ」の名称を「ライブメモ」に変更します。 |
| 5 | その他不具合修正 | スマホ版でライブメモ(旧共有メモ)のコピーを行うとタグがコピーされない不 具合を修正その他、軽微な修正 |

icsインポート機能

現在ご利用中のカレンダーアプリ等から CleanManagerへ予定を移行できるようになりました







※各カレンダーアプリにて「icsファイル」または「iCal形式URL」を取得できる場合、移行が可能です。

icsインポート機能 操作説明

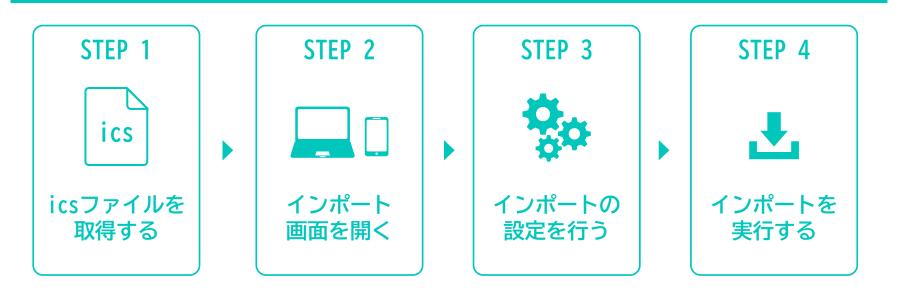
icsインポート機能概要

本機能を利用することで、ご利用中のカレンダーアプリからCleanManagerに 予定を移行することができます。

移行した予定は「ライブメモ」として登録されます。

icsインポートはPC版・スマホ版共に可能です。

操作手順



icsファイルを取得する

各カレンダーアプリにて下記1、2のいずれかを取得してください。

- 1. icsファイルを取得する
- 2. iCal形式URLを取得する

icsファイル とは?

- 拡張子が「.ics」となっているファイルです。
- 取得方法は、お使いのカレンダーアプリのマニュアルを ご確認ください。
- PCのブラウザ版Googleカレンダーの場合、カレンダー左 側のマイカレンダーにて対象カレンダーの:をクリック し、[設定と共有]をクリックします。設定画面に遷移す るので、[カレンダーの設定]の中にある[カレンダーを エクスポート]を押してください。



iCal形式URL とは?

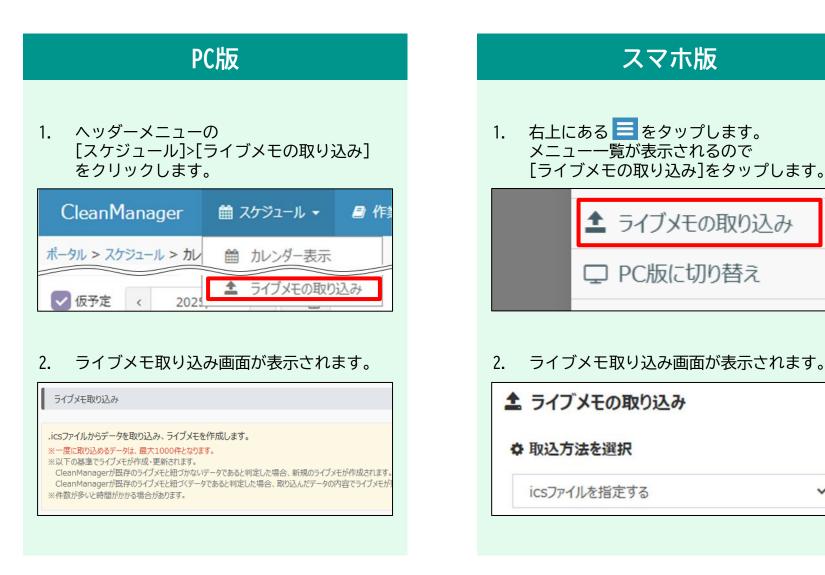
- カレンダーアプリでご利用中のカレンダーを公開するこ とで、誰でもカレンダー情報を取得できるようなURLを 取得できる場合があります。このURLを利用して CleanManagerに予定をインポートすることが可能です
 - ※ カレンダーを公開するかはお客様ご自身でご判断ください。
 - ※ "iCal"形式URLが対象です。
- 取得方法は、お使いのカレンダーアプリのマニュアルを ご確認ください。
- PCのブラウザ版Googleカレンダーの場合、左記icsファ イルの取得方法と同様の手順で設定画面を開きます。 「カレンダーの統合]に[iCal形式の公開URL][iCal形式の 非公開URL]があるので、URLを取得してください。



- ※ 公開URLを利用する場合はカレンダーが一般公開されている 必要があります。
- ※[予定のアクセス権限]の[共有可能なリンクを取得]のリンク は、インポートに利用できません。
- ※ URLの取り扱いにはご注意ください。

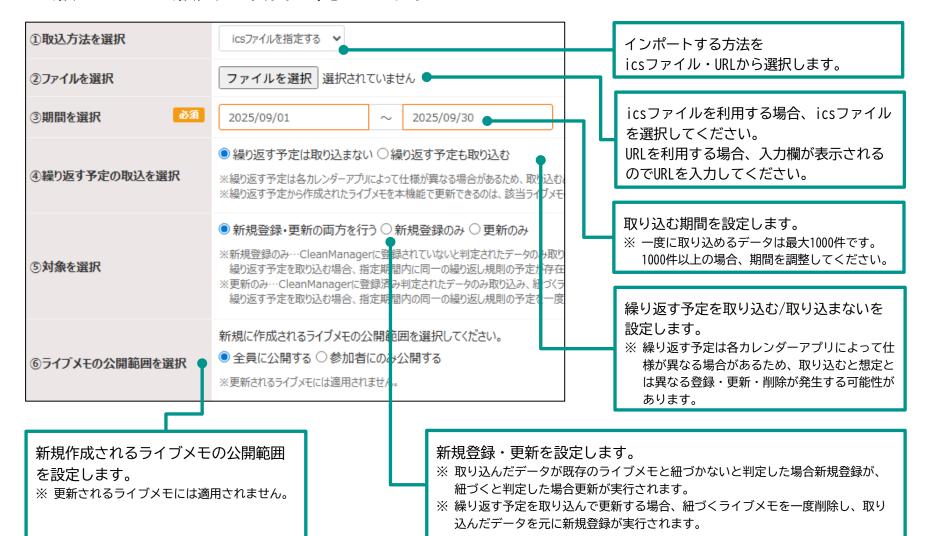
インポート画面を開く

PC版またはスマホ版CleanManagerより、インポート画面を開きます。



インポートの設定を行う

各項目を設定します。 PC版・スマホ版共に項目は同じです。



インポートを実行する

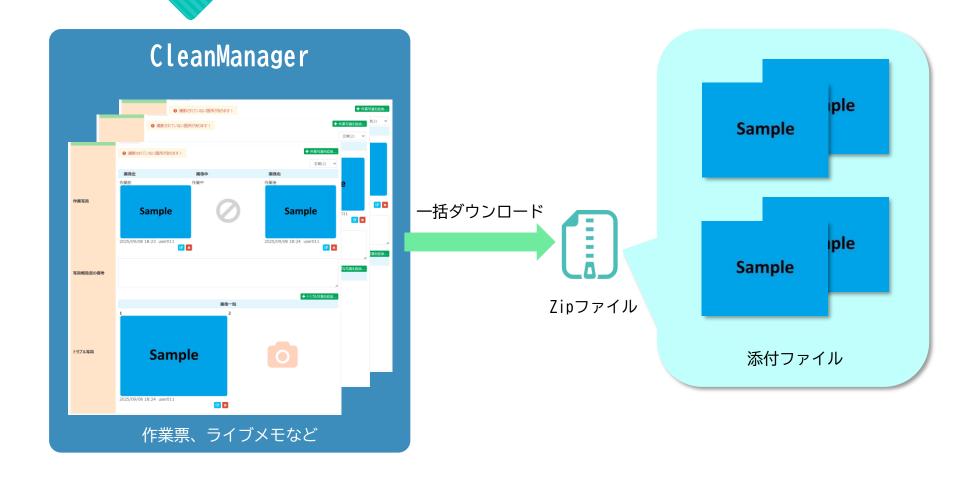
画面下部にある[取り込み開始]ボタンを押すと、インポートが実行されます。

| 作成されるライブメモの詳細 | | | | |
|---------------|---|--|--|--|
| タイトル | インポートした予定のタイトルが登録されます。 タイトルが無い予定を取り込んだ場合、「(タイトル未設定)」が登録されます。 最大全角50文字(半角100文字)入力可能です。 | | | |
| メモ | インポートした予定の説明が登録されます。 最大全角250文字程度入力可能です。 | | | |
| 日付未定 | 対未定 基本的に日付未定のライブメモは作成されません。 不正な値をインポートした場合等に、日付未定のライブメモが作成される可能性があります。 | | | |
| 日付 | インポートした予定の開始日時を基に登録されます。 | | | |
| 終日 | インポートした予定が終日と判定された場合、終日のライブメモが作成されます。 | | | |
| 時刻 | インポートした予定の開始日時・終了日時を基に登録されます。 ライブメモに登録できる形に値を変更したうえで開始/終了時刻が登録される場合があります。 | | | |
| 参加者 | 新規登録の場合、インポートを実行したユーザーのみ参加者として登録されます。 この時、既読状態で登録されます。 | | | |
| 公開範囲 | 新規登録の場合、インポート時に選択した設定が新規作成されるライブメモの公開範囲に適用されます。 なお、更新の場合、ライブメモの公開範囲はインポートによって変更されません。 | | | |

- ※ 各カレンダーアプリによって仕様が異なる場合があり、想定した通りにインポートが実行されない可能性があります。ご了承ください。
- ※ 特に繰り返す予定は仕様が煩雑なため、想定した通りにインポートが実行されない可能性があります。
- ※ 繰り返す予定を取り込んで更新する場合、紐づくライブメモを一度<mark>削除</mark>し、取り込んだデータを元に<mark>新規登録</mark>が実行されます(既存ライブメモのタイトルやメモ等の内容が更新されるわけではありません)。繰り返す予定から作成されたライブメモに各データを登録していた場合、削除が実行されてしまうためご注意ください。
- ※ 繰り返す予定から作成されたライブメモを本機能で更新できるのは、該当ライブメモの作成者のみです。
- ※ 上記注意事項があるため、基本的には随時更新する目的で本機能を利用するのではなく、カレンダーアプリからCleanManagerへ移行する際に利用することをおすすめします。

ファイルダウンロード機能

CleanManagerにアップロードした画像等の添付ファイルを 一括でダウンロードできるようになりました



ファイルダウンロード機能 操作説明

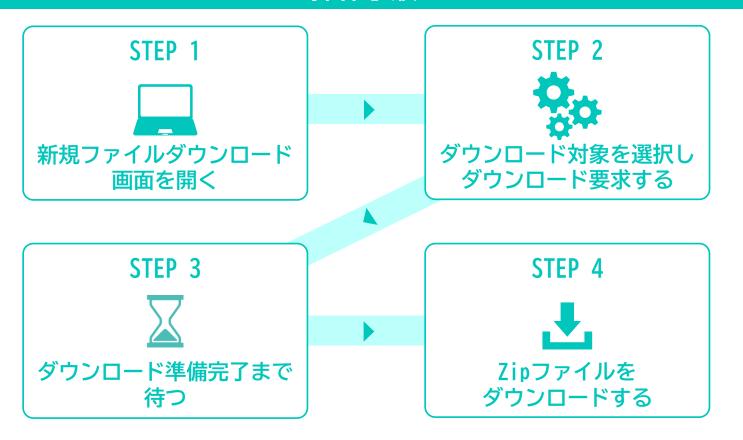
ファイルダウンロード機能概要

本機能を利用することで、作業写真などの添付ファイルを一括でダウンロードすることができます。

ファイルダウンロード機能はPC版で利用可能です。

※本機能の利用には管理者権限が必要です。

操作手順



ファイルダウンロードを要求する

▶ STEP 1 新規ダウンロード画面を開く



- 1. ヘッダーメニューの[システム管理]>[ファイルダウンロード] をクリックしてファイルダウンロード一覧画面を開きます。
- 2. [新規ダウンロード]ボタンをクリックして新規ファイルダウンロード画面を開きます。

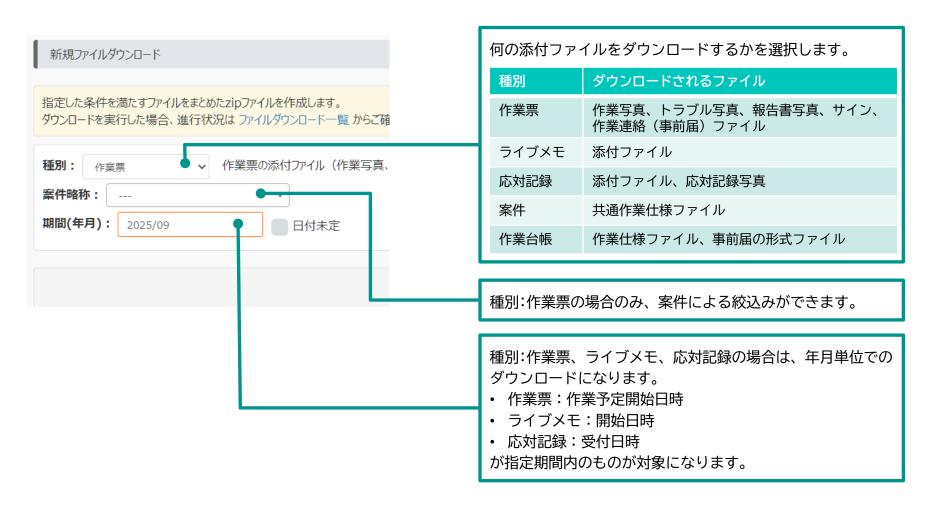
➤ STEP 2 ダウンロード対象を選択する



- 1. ダウンロード対象の種別、案件、期間などを指定します。 ※詳細は次ページ参照
- 2. [新規ダウンロード]ボタンをクリックしてダウンロードを要求します。
 - ※ダウンロード準備完了までにはデータ量に応じて時間がかかります。

ファイルダウンロードの対象

➤ STEP 2 続き ダウンロード対象を選択する



Zipファイルをダウンロードする

▶ STEP 3 ダウンロード準備完了まで待つ



★確認のお知らせが13件あります。サウンロードデータ準備完了通知

1. 新規ファイルダウンロード画面で要求したものは、ダウンロードー覧画面で表示されます。

- 完了したダウンロード要求の行にはダウンロード期限、ダウンロードサイズとともに、[ダウンロード]ボタンが表示されます。
- 3. 要求したダウンロードが完了した際には、右上の通知ボックス に「ダウンロードデータ準備完了通知」が表示されます。

➤ STEP 4 Zipファイルをダウンロードする



- 1. ファイルダウンロード一覧画面で完了したダウンロード要求の [ダウンロード]ボタンをクリックします。
- 2. ブラウザの案内に従ってZipファイルを保存します。

作業発注確認機能

作業発注確認機能とは

発注先が存在する作業票を作成した際に、発注先(作業担当の会社)がその作業票を「確認 したかどうか」を管理・判別できる機能です。

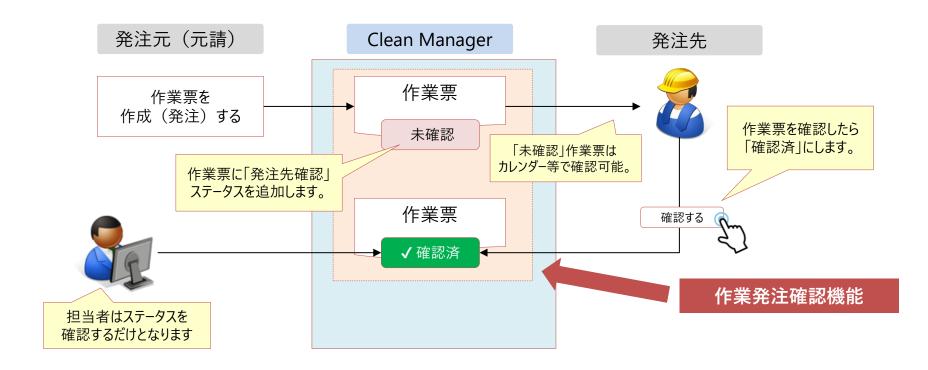
作業台帳の設定で「作業発注確認」を有効にすると、 その台帳の作業票で「作業発注確認機能」が利用できます。

作業票が作成(カレンダーからの作成・仮予定の確定・スケジュールのインポート)される と、その作業票は「発注先未確認」の状態になります。

発注先(作業担当会社)のユーザーがその作業票を表示して、「確認済」にすることで、 「発注先確認済」の状態となります。

「発注先未確認」の作業票は、カレンダーや一覧画面で判別することができます。

イメージ



作業発注確認機能 操作説明

作業台帳・案件を設定する

本機能を有効にする作業台帳・案件で本機能の利用設定を行います。



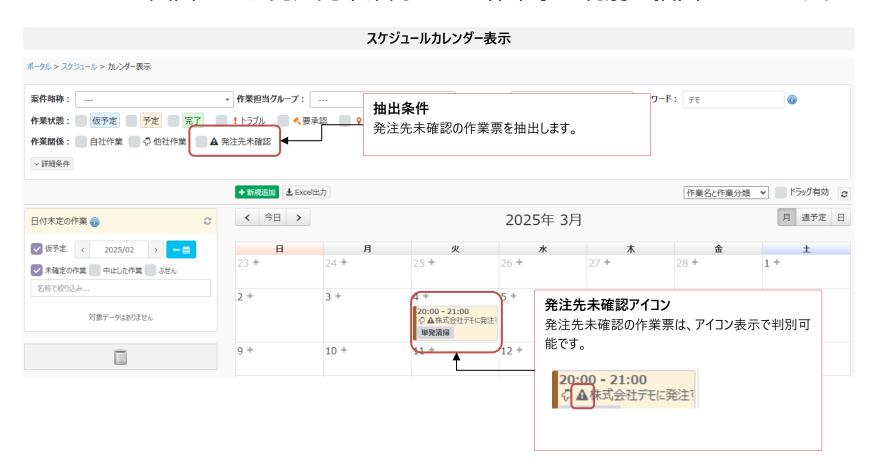
作業票を作成する

本機能が有効な作業台帳が紐づいた作業票が作成されると、 自動的に「発注先未確認」の状態になります。



発注先未確認の作業票を判別・抽出する

カレンダー画面では、発注先未確認である作業票の判別・抽出ができます。



発注元・発注先(中間の発注先も含む)ともに同じ条件で判別・抽出することができます。 「確認済」であることの判別、及び抽出機能はありません。

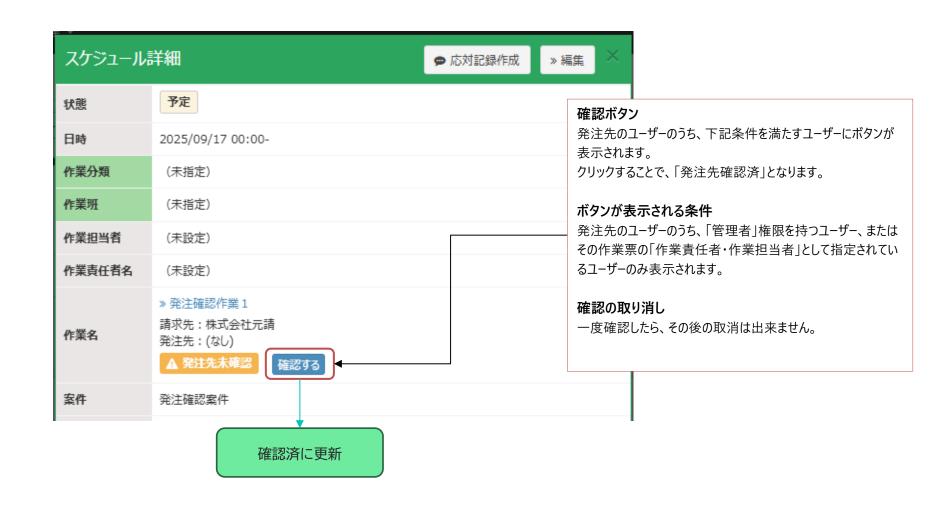
発注先未確認の作業票を判別・抽出する

作業票一覧画面では、発注先未確認である作業票の抽出ができます。



発注先のユーザーが確認を行う

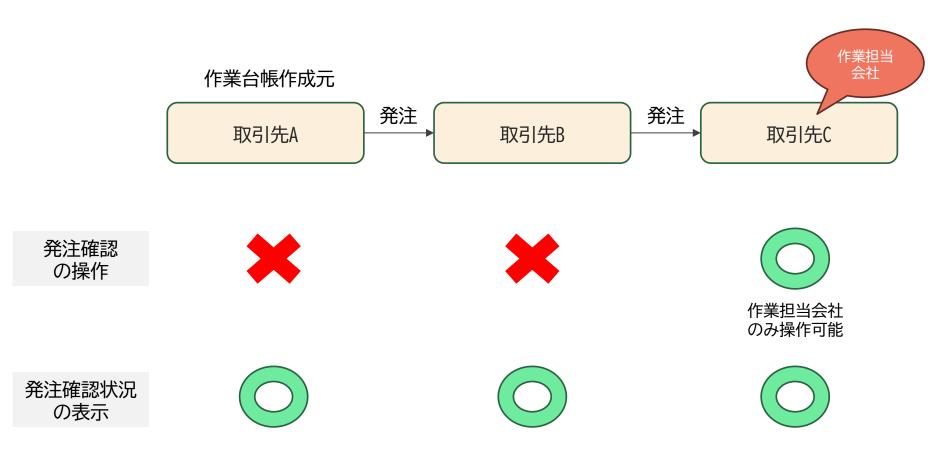
作業担当会社のユーザーは、未確認の作業票を「確認する」ことができます。 確認することにより、「発注先確認済」の状態になります。



確認済に出来る条件

「確認済」にできるのは、作業担当会社(当該の作業票において、発注先階層の一番下に属する取引先)のみです。

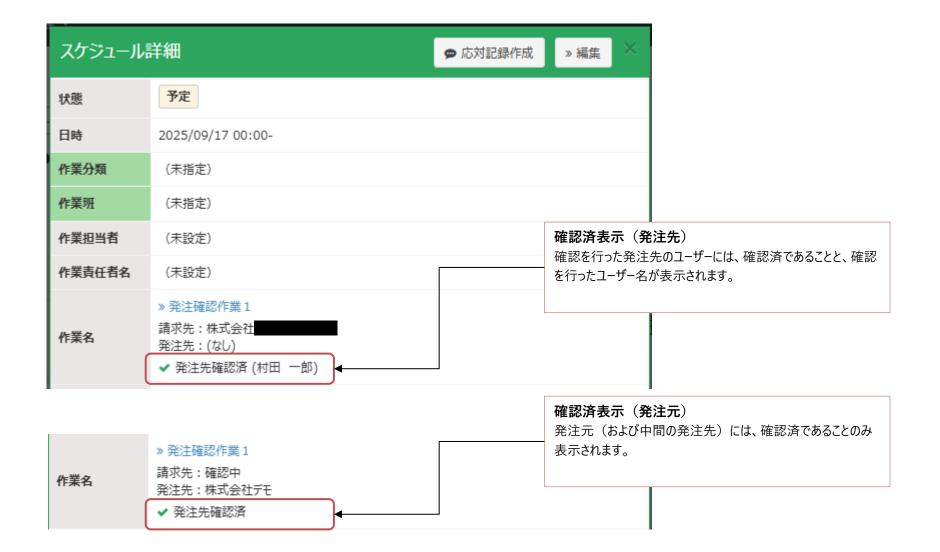
発注元、または中間に属する取引先は確認済にすることはできません。



状況の確認はすべての階層で行うことができます

発注先確認済の作業票

「確認済」になった作業票は詳細画面で判別可能です。



発注先確認済の作業票が未確認に戻るケース

「発注先確認済」の作業票は、以下の操作が行われると「発注先未確認」の 状態に戻る場合があります。

※この場合は、再度発注先による確認を行う必要があります。

ケース1. 作業票を未確定(日付未定)に変更した場合

- 例)カレンダーで作業票を「日付未定」にドラッグした
 - ※日付未定にした場合、発注先が未確定の状況になるため常に「未確認」の状況に変更されます。

ケース2. 作業票の日付を変更した場合

- 例)カレンダーで作業票を別の日付に移動した
- 例)作業票編集画面で作業予定日を別に日付に変更した
 - ※日付を変更したのが作業担当会社の場合は確認済のままになります。

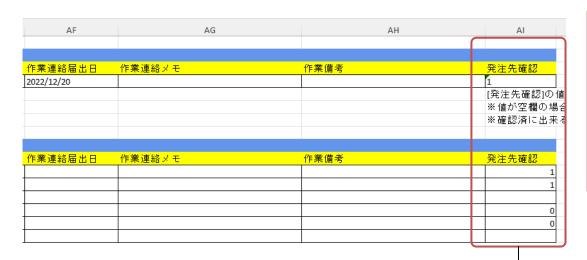
発注確認状況の一括エクスポート(確認)

作業票の出力・取り込み機能を使用して、 確認状況の一括エクスポート(確認)ができます。

| 作業票の出力 | | | | 作業票の出力 「作業台帳と紐づく | 作業票の更新」を指定して作業票 | を出力 |
|------------------|---|----|--------------------|--|-----------------|-------------------|
| Excelファイルで作業票のデー | -タを出力します。 | | | すると、「発注確認 | 状況」の項目が出力されます。 | |
| 出力種別 | 作業台帳と紐づく作業票の更新 | | • | | | |
| | 作業票を抽出する条件を指定してくだる ※対象となるのは作業台帳に組づく作 | | | | | |
| | 案件略称 | ₩ | キーワード | | • | |
| | 作業予定日 2025/09/01 | ~ | 2025/09/30 | 日付未定の作業も含める | | |
| | 作業完了日 | ~ | | 予定日と完了日のいずれかを対象と | する | |
| 11-W-T | 作業状態 予定 | 四月 | 中止 ! トラブル | ★要承認 | | |
| 作業票 | ~ 詳細条件 | | | | Q 検索 | |
| | | | AF | AG | АН | AI |
| | | | 作業連絡届出日 作業連絡届出日 | 作業連絡メモ | 作業備考 | 発注先確認 |
| | | | 2022/12/20 | 「一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 11-未順名 | 1 |
| | | | | | | [発注先確認]の値※値が空欄の場合 |
| | | | | | | ※確認済に出来る |
| | | • | | | | |
| | | | 作業連絡届出日 | 作業連絡メモ | 作業備考 | 発注先確認 |
| | | | - | | | 1 |
| 詳細はExcelに記載 | されている説明文を | | | | | |
| 確認下さい | | | - | | | 0 |
| | | | | | | |

発注確認状況の一括インポート(更新)

エクスポートしたExcelの値を編集してインポートすることで、 作業発注確認状況を一括で「確認済」に更新することができます。



発注先確認状況の更新

出力したExcel内の値を編集して取り込みすることで、

当該作業票の「発注先確認状況」を「確認済」に一括更新できます。

※更新できるのは、作業担当会社が取り込みを行った場合の みです。

※発注先確認機能が無効な作業票や、すでに確認済の作業 票については更新されません。

| 作業票取り込み | | | | | | |
|---|---------------------------|--|--|--|--|--|
| • | | | | | | |
| Excelファイルから、作業 | 票データを取り込みます。 | | | | | |
| ※一度に取り込めるデータは、最大1000行となります。※件数が多いと時間がかかる場合があります。※取り込めるExcelファイルは、作業票の出力画面からデータ出力したファイルのみです。 | | | | | | |
| | | | | | | |
| ①種別を選択 | 作業台帳と紐づく作業票の更新 | | | | | |
| ②ファイルを選択 | ファイルを選択 選択されていません ファイルを決定 | | | | | |
| ③シートを選択 | ファイルを選択してください。 | | | | | |

※更新するために入力する値は、 Excel内の説明書きをご確認ください。

「共有メモ」から 「ライブメモ」への名称変更

各機能で使用されている「共有メモ」の名称を「ライブメモ」に変更します。 ※表記のみの変更です。機能に変更はありません。



